2022 年度

就職先（2021 年度卒業生）アンケート調査報告

川崎医療福祉大学
ＦＤ・ＳＤ委員会

本学卒業生を受け入れた就職先に対し、本学卒業生をどのように評価しているかを確認するために、卒業後半年以上経過した時点でアンケート調査を行っている。この調査は、2006 年度より始まり、2018 年度までは 3 年に 1 度の実施であったが（この間に 5 回実施）、2020 年度からは、毎年実施している。アンケート内容については、2021 年度より、それまでの教育目標の達成度から本学のディプロマ・ポリシーの達成度の評価へと変更した。

1. 実施状況

1-1　実施対象と実施方法

2021 年度の卒業生の就職先として対象は 519 施設であった。送達不能が 2 施設あり、計 519 施設（企業）（前回 525 施設）が今回の調査対象であった。本学就職課からの情報に基づき、アンケート依頼は郵送、回答は Google Forms を使用して、オンラインにて実施した。質問項目は巻末の資料 1 の通りでであった。

1-2　実施期間

2022 年 12 月 1 日（木）～2022 年 12 月 31 日（土）

2. 実施結果（表 1）

2-1　回収率

就職先からの回収率は 36.17%で、前回（39.62%）と比較するとやや減少した。

2-2　卒業生の人数（Q3）

回答のあった施設（企業）における本学卒業生の勤務者数は 1～5 名の割合が 58.82%と最も多く、次いで 11 名以上が 21.39%、6～10 名 13.90%であった。

2-3　卒業生への満足度（Q4）

回答のあった施設（企業）のうち、本学卒業生に対する満足度は 5 段階評価で平均 4.18（前回 4.19）と比較的高く、医療関係、福祉関係、一般企業及びその他の企業（施設）でも同等程度の評価であった。

2-4　本学のディプロマ・ポリシーの達成度（Q5）

本学のディプロマ・ポリシーのそれぞれの達成度について、5 段階評価で就職先に評価を求めた結果、以下のとおりであった。

なお、本質問項目は昨年度までの教育目標の達成度に代わる質問項目である。
それぞれ平均値を示すと以下のとおりであった。

・ Q5-①「幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」
平均 4.07 であった。

・ Q5-②「豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。」
平均 4.02 であった。

・ Q5-③「医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」
平均 3.77 であった。

・ Q5-④「4 年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」
平均 3.76 であった。

ディプロマ・ポリシー別、職種別に 4.5 以上の高い評価を得た項目、3.0 未満の低い評価を受けた項目はなかった。

3. 自由記述

高評価や期待を述べる施設・企業が多かった。自由記述をまとめたものについては、別途保管する。

4.まとめ

就職先の満足度は概ね高い評価であった。しかしながら、それぞれの質問項目において、どちらでもないと回答した就職先は少なくなく、総合的視点や課題解決力、ならびに専門的な医療福祉人に必要な学力や技術力の達成度を評価できない企業が 3 割弱あったことについては、何らかの対策が必要と考える。

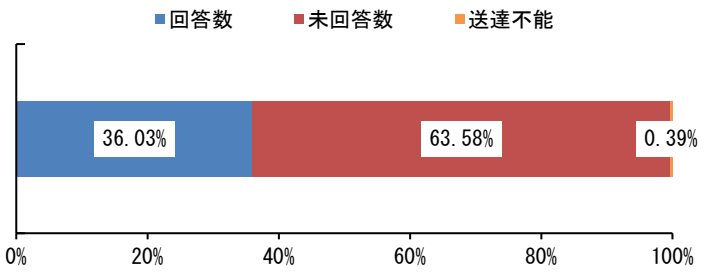
さらに、今回も社会人基礎力（コミュニケーション力や適応力、職業人としての心構え、責任感、マナーなど）の向上の必要性も窺える。継続的に本学への志願者が減少しており、入学生の学力を含めた多様性がさらに大きくなっている。従来の教育方法では十分な教育効果を与えられない学生が増加していることから、引き続き、教育方法の改善につながる取り組みが必要と考えられる。

本学の教育目標を達成するためには、ますます広がりをみせる多様な学生の特徴を見極め、個々の学生に見合った個別最適化された教育こそが、就職先からの高評価につながる唯一の手段である。

表１

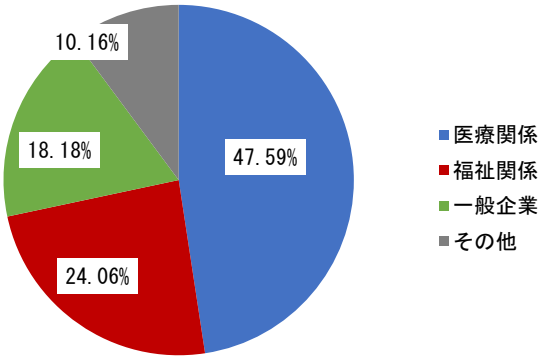
１．回収率（全体）

配布数	519 通	
回答数	187 通	36.03%
未回答数	330 通	63.58%
送達不能	2 通	0.39%



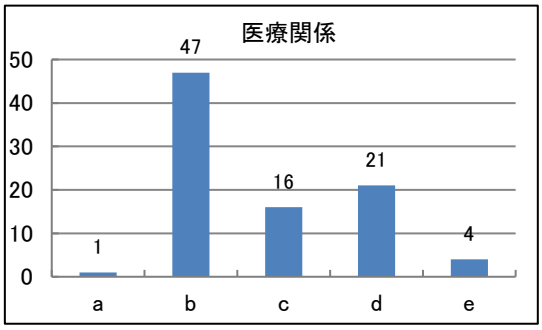
２．Ｑ２　貴施設（貴社）の業種をお教えください。

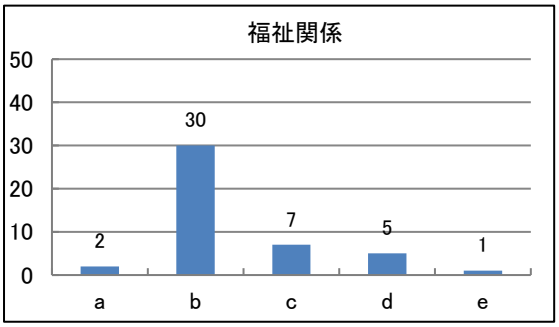
学科	回答数	割合
医療関係	89	47.59%
福祉関係	45	24.06%
一般企業	34	18.18%
その他	19	10.16%
合 計	187	100.00%

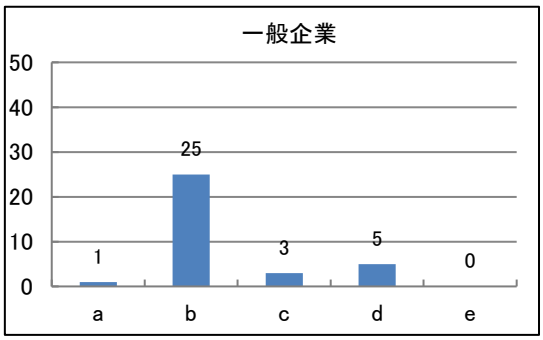


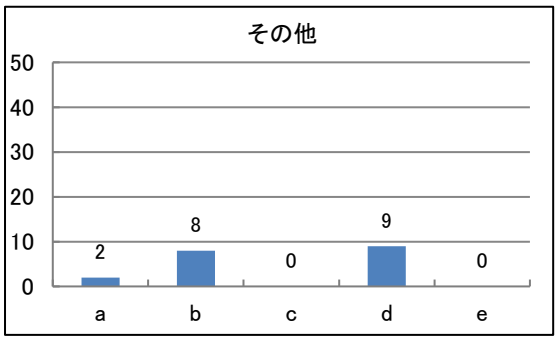
3．Ｑ３　2022年12月1日現在、貴施設（貴社）には本学の卒業生が何人程度勤務していますか。

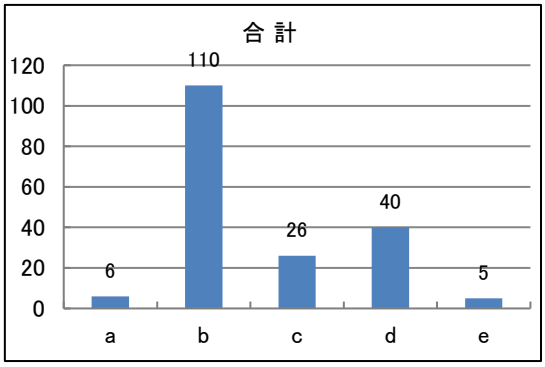
	0人	1～5人	6～10人	11人以上	よく分からない	合計
就職先	a	b	c	d	e	
医療関係	1	47	16	21	4	89
福祉関係	2	30	7	5	1	45
一般企業	1	25	3	5	0	34
その他	2	8	0	9	0	19
合 計	6	110	26	40	5	187
割合	3.21	58.82	13.90	21.39	2.67	









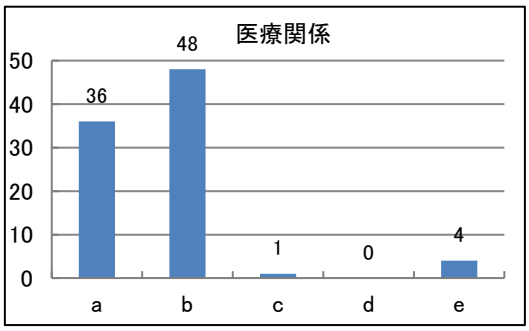


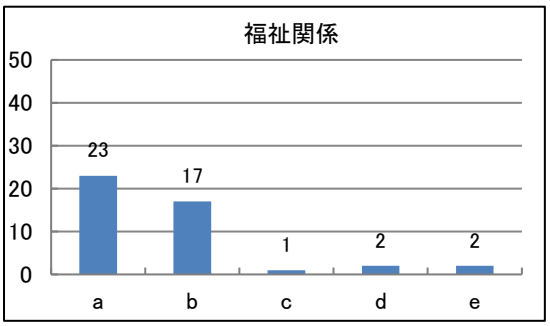
４．Ｑ４　本学卒業生を総合的に評価して、どの程度満足されていますか。

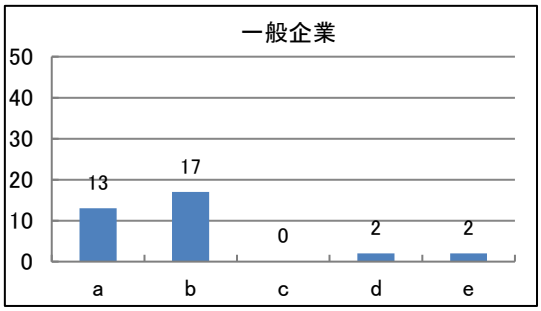
	大変満足	まずまず満足	やや不満足	大変不満足	よく分からない	合計	平均値
就職先	a	b	c	d	e		AV
医療関係	36	48	1	0	4	89	4.26
福祉関係	23	17	1	2	2	45	4.27
一般企業	13	17	0	2	2	34	4.09
その他	8	7	0	0	4	19	3.79
合 計	80	89	2	4	12	187	4.18

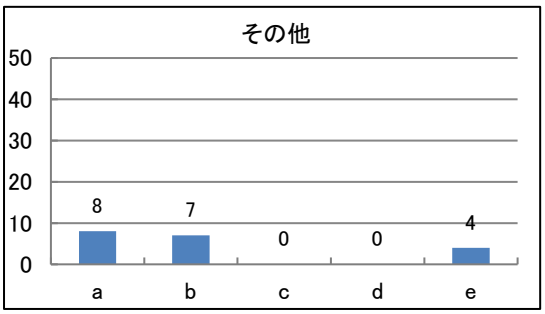
	差の二乗和					
就職先	a	b	c	d	e	合 計
医療関係	19.80	3.21	1.58	0.00	42.47	67.06
福祉関係	12.37	1.21	1.60	10.28	21.34	46.80
一般企業	10.81	0.13	0.00	8.72	19.07	38.74
その他	11.72	0.31	0.00	0.00	31.12	43.16
合 計	53.55	2.94	2.79	19.04	121.49	199.82

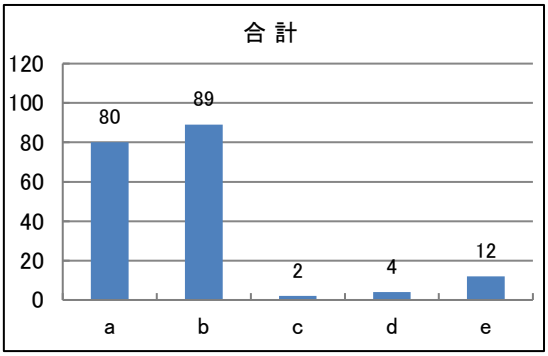
	標準偏差
分散	SD
0.75	0.87
1.04	1.02
1.14	1.07
2.27	1.51
1.07	1.03









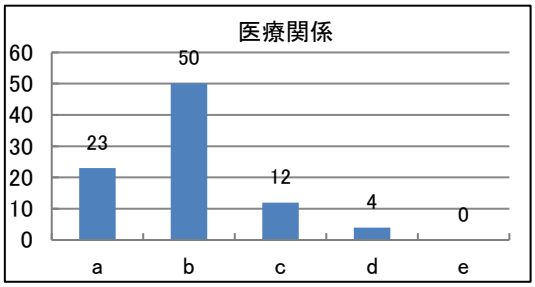


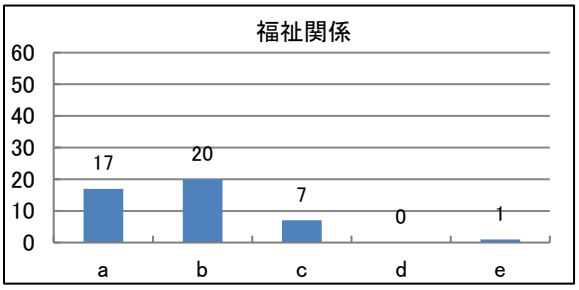
5．Ｑ５　本学が養成しようとする人材像は以下のとおりですが、身につけた能力をどのくらい職場で発揮できていますか。
［①幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。］

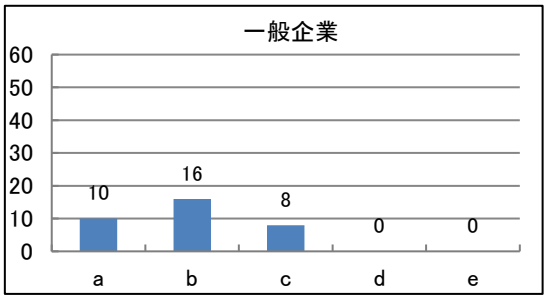
	十分発揮できている	やや発揮できている	どちらでもない	やや発揮できていない	全く発揮できていない	合計	平均値
就職先	a	b	c	d	e		AV
医療関係	23	50	12	4	0	89	4.03
福祉関係	17	20	7	0	1	45	4.16
一般企業	10	16	8	0	0	34	4.06
その他	7	6	6	0	0	19	4.05
合 計	57	92	33	4	1	187	4.07

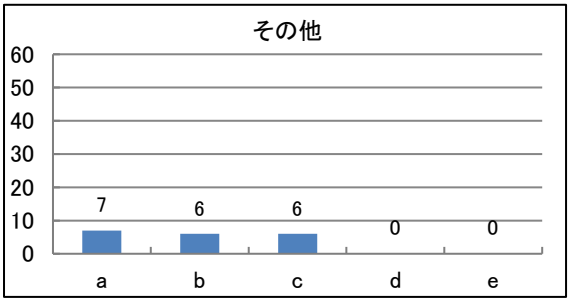
	差の二乗和					
就職先	a	b	c	d	e	合 計
医療関係	21.48	0.06	12.82	16.54	0.00	50.90
福祉関係	12.12	0.48	9.35	0.00	9.96	31.91
一般企業	8.86	0.06	8.97	0.00	0.00	17.88
その他	6.28	0.02	6.65	0.00	0.00	12.95
合 計	49.35	0.44	37.75	17.13	9.42	114.10

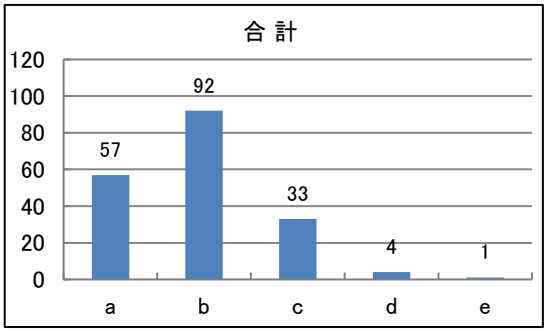
	標準偏差
分散	SD
0.57	0.76
0.71	0.84
0.53	0.73
0.68	0.83
0.61	0.78









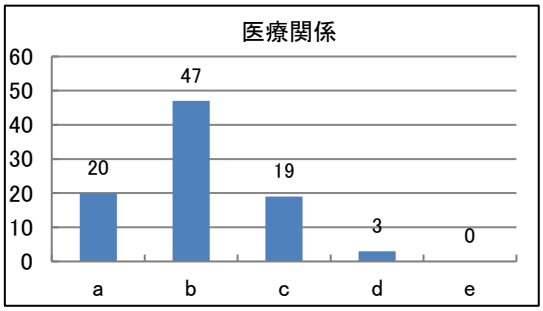


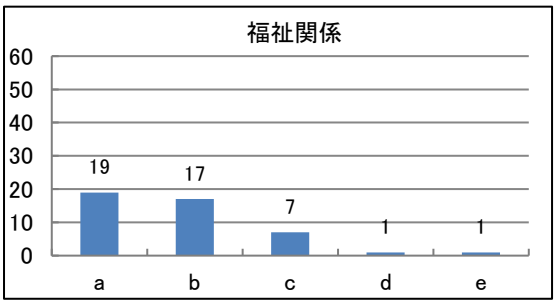
6．Ｑ５　本学が養成しようとする人材像は以下のとおりですが、身につけた能力をどのくらい職場で発揮できていますか。
[②豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。]

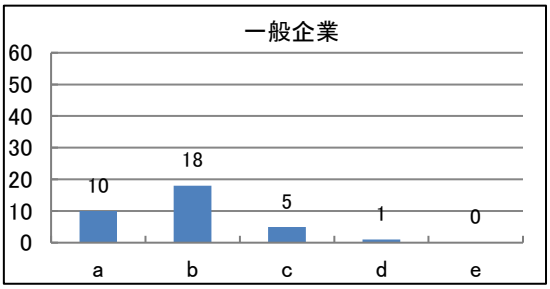
	十分発揮できている	やや発揮できている	どちらでもない	やや発揮できていない	全く発揮できていない	合計	平均値
就職先	a	b	c	d	e		AV
医療関係	20	47	19	3	0	89	3.94
福祉関係	19	17	7	1	1	45	4.16
一般企業	10	18	5	1	0	34	4.09
その他	4	10	5	0	0	19	3.95
合 計	53	92	36	5	1	187	4.02

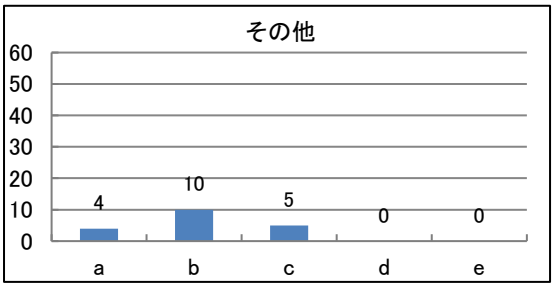
	差の二乗和					
就職先	a	b	c	d	e	合 計
医療関係	22.31	0.15	16.93	11.34	0.00	50.72
福祉関係	13.55	0.41	9.35	4.65	9.96	37.91
一般企業	8.31	0.14	5.92	4.36	0.00	18.74
その他	4.43	0.03	4.49	0.00	0.00	8.95
合 計	50.76	0.04	37.56	20.43	9.13	117.91

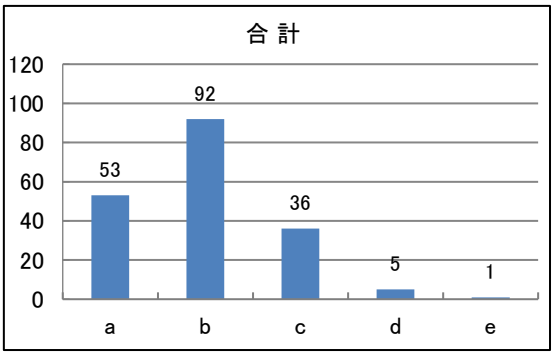
	標準偏差
分散	SD
0.57	0.75
0.84	0.92
0.55	0.74
0.47	0.69
0.63	0.79









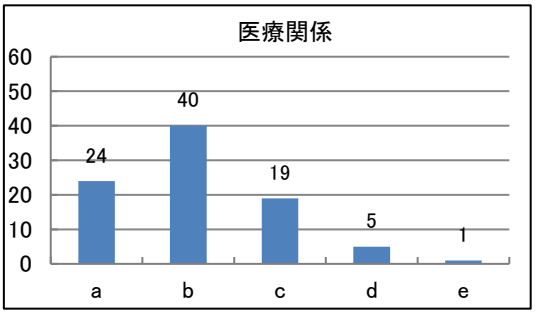


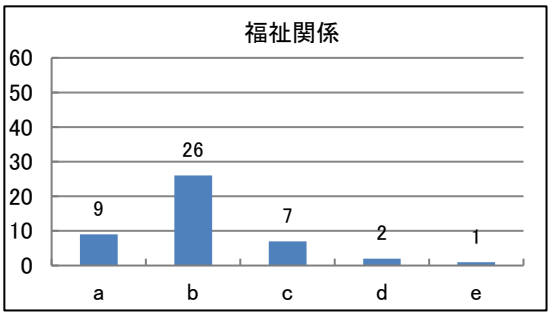
7．Ｑ５　本学が養成しようとする人材像は以下のとおりですが、身につけた能力をどのくらい職場で発揮できていますか。
［③医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。］

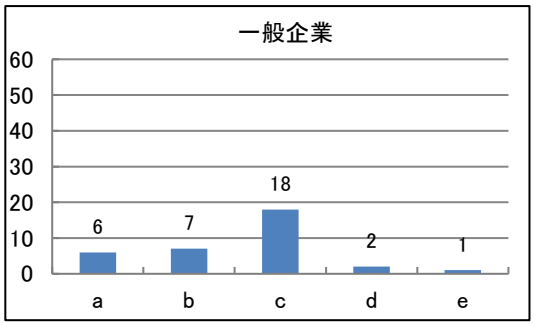
就職先	十分発揮できている a	やや発揮できている b	どちらでもない c	やや発揮できていない d	全く発揮できていない e	合計	平均値 AV
医療関係	24	40	19	5	1	89	3.91
福祉関係	9	26	7	2	1	45	3.89
一般企業	6	7	18	2	1	34	3.44
その他	1	6	12	0	0	19	3.42
合 計	40	79	56	9	3	187	3.77

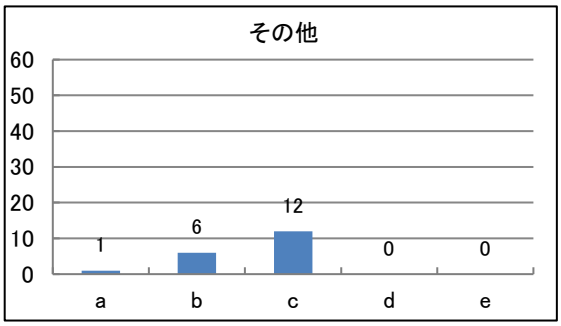
就職先	差の二乗和 a	b	c	d	e	合 計
医療関係	28.51	0.32	15.74	18.24	8.47	71.28
福祉関係	11.11	0.32	5.53	7.14	8.35	32.44
一般企業	14.58	2.19	3.50	4.15	5.96	30.38
その他	2.49	2.01	2.13	0.00	0.00	6.63
合 計	60.51	4.18	33.21	28.20	23.02	149.11

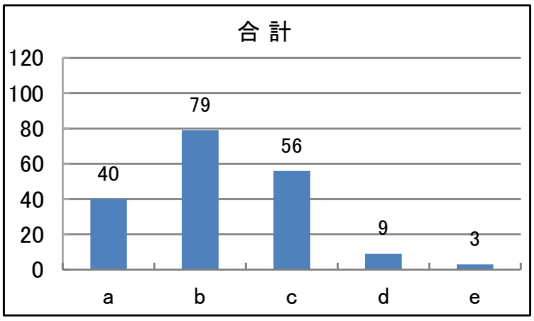
	標準偏差
分散	SD
0.80	0.89
0.72	0.85
0.89	0.95
0.35	0.59
0.80	0.89









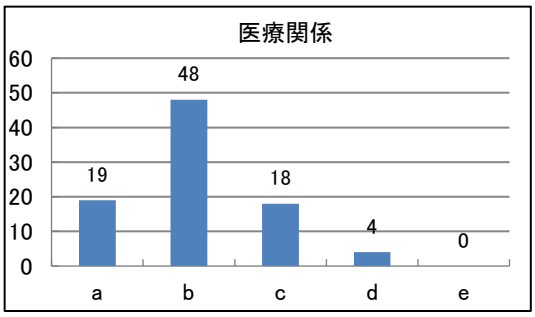


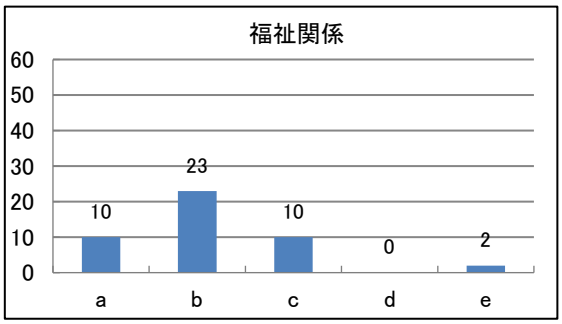
8．Ｑ５　本学が養成しようとする人材像は以下のとおりですが、身につけた能力をどのくらい職場で発揮できていますか。
［④4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、
さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。］

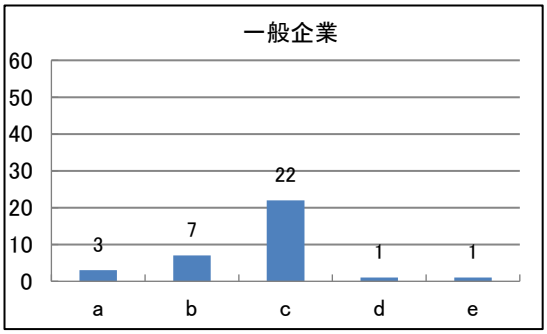
就職先	十分発揮できている a	やや発揮できている b	どちらでもない c	やや発揮できていない d	全く発揮できていない e	合計	平均値 AV
医療関係	19	48	18	4	0	89	3.92
福祉関係	10	23	10	0	2	45	3.87
一般企業	3	7	22	1	1	34	3.29
その他	2	7	10	0	0	19	3.58
合 計	34	85	60	5	3	187	3.76

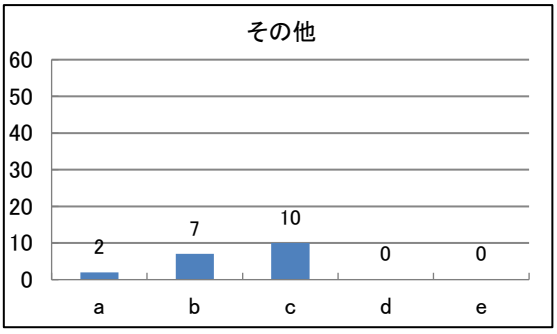
就職先	差の二乗和 a	b	c	d	e	合 計
医療関係	22.11	0.30	15.28	14.77	0.00	52.45
福祉関係	12.84	0.41	7.51	0.00	16.44	37.20
一般企業	8.73	3.49	1.90	1.67	5.26	21.06
その他	4.04	1.24	3.35	0.00	0.00	8.63
合 計	52.33	4.92	34.60	15.48	22.84	130.17

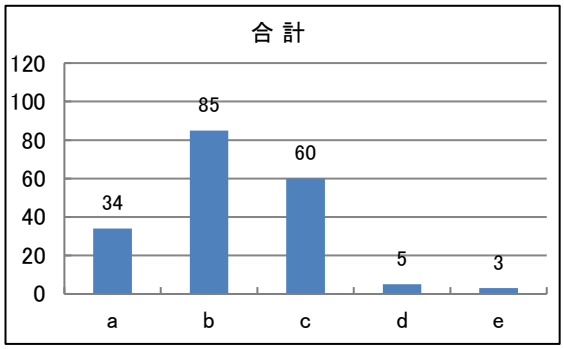
	標準偏差
分散	SD
0.59	0.77
0.83	0.91
0.62	0.79
0.45	0.67
0.70	0.83











資料1

2022年度就職先アンケート質問項目一覧

Q1【アンケートコード】⇒　202212　とご入力ください。

Q2【貴施設（貴社）の業種をお教えください。】

a　医療関係　　b　福祉関係　　c　一般企業　　d　その他

Q3【2022年12月1日現在、貴施設（貴社）には本学の卒業生が何人程度勤務していますか。】

a　0人　　b　1～5人　　c　6～10人　　d　11人以上　　e　よく分からない

Q4【本学卒業生を総合的に評価して、どの程度満足されていますか。】

a　大変満足　　b　まずまず満足　　c　やや不満足　　d　大変不満足　　e　よく分からない

Q5【本学が養成しようとする人材像は以下のとおりですが、身につけた能力をどのくらい職場で発揮できていますか。】

①「幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」

a　十分発揮できている　b　やや発揮できている　c　どちらでもない　d　やや発揮できていない　e　全く発揮できていない

②「豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につける。」

a　十分発揮できている　b　やや発揮できている　c　どちらでもない　d　やや発揮できていない　e　全く発揮できていない

③「医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」

a　十分発揮できている　b　やや発揮できている　c　どちらでもない　d　やや発揮できていない　e　全く発揮できていない

④「４年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」

a　十分発揮できている　b　やや発揮できている　c　どちらでもない　d　やや発揮できていない　e　全く発揮できていない

Q6【本学の卒業生に対して何かご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。】

---

https://forms.gle/abnqQHb7kqDayvte9

提出締切：2022年12月31日（土）

川崎医療福祉大学　FD・SD委員会